

DIAM ワールドREITアクティブファンド<DC年金> <愛称：世界のハッピー・オーナーDC>

追加型投信／海外／不動産投信

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日本を除く世界各国のリートに実質的に投資し、安定した収益の確保と信託財産の長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2024年12月10日～2025年12月9日

第19期	決算日：2025年12月9日	
第19期末 (2025年12月9日)	基準価額	16,381円
	純資産総額	1,498百万円
第19期	騰落率	5.3%
	分配金合計	0円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。
(注2) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

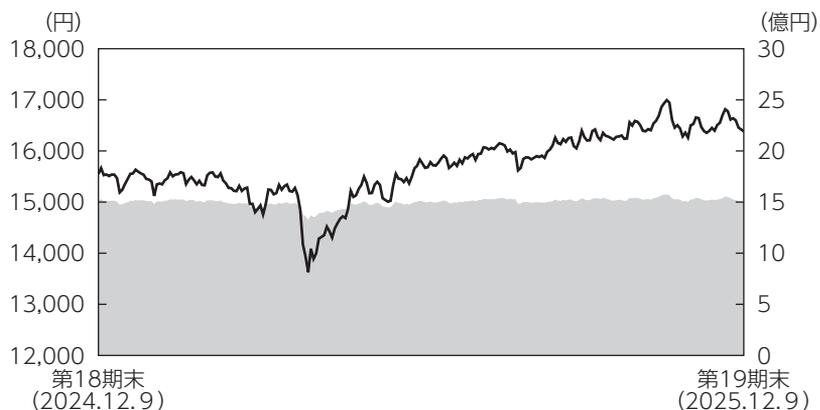
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <https://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第19期首： 15,550円
 第19期末： 16,381円
 (既払分配金0円)
 騰落率： 5.3%
 (分配金再投資ベース)

■ 純資産総額 (右軸) — 基準価額 (左軸) - - 分配金再投資基準価額 (左軸)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

米国リートは下落したものの、各国中央銀行による利下げなどを受けて大陸欧州や豪州などのリート市場が上昇したことは、基準価額にプラスに影響しました。また、米ドルやユーロをはじめ幅広い通貨に対して円安となったことも、基準価額にプラスに影響しました。

◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
DIAM US・リート・オープン・マザーファンド	△6.7%
DIAM インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド	17.1%

1万口当たりの費用明細

項目	第19期		項目の概要
	(2024年12月10日 ～2025年12月9日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	273円	1.738%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は15,703円です。
(投信会社)	(173)	(1.100)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各种書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(86)	(0.550)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(14)	(0.088)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	5	0.034	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(投資信託受益証券)	(1)	(0.007)	
(投資証券)	(4)	(0.027)	
(c) 有価証券取引税	4	0.027	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投資証券)	(4)	(0.027)	
(d) その他費用	4	0.025	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(3)	(0.018)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(1)	(0.003)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	286	1.824	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

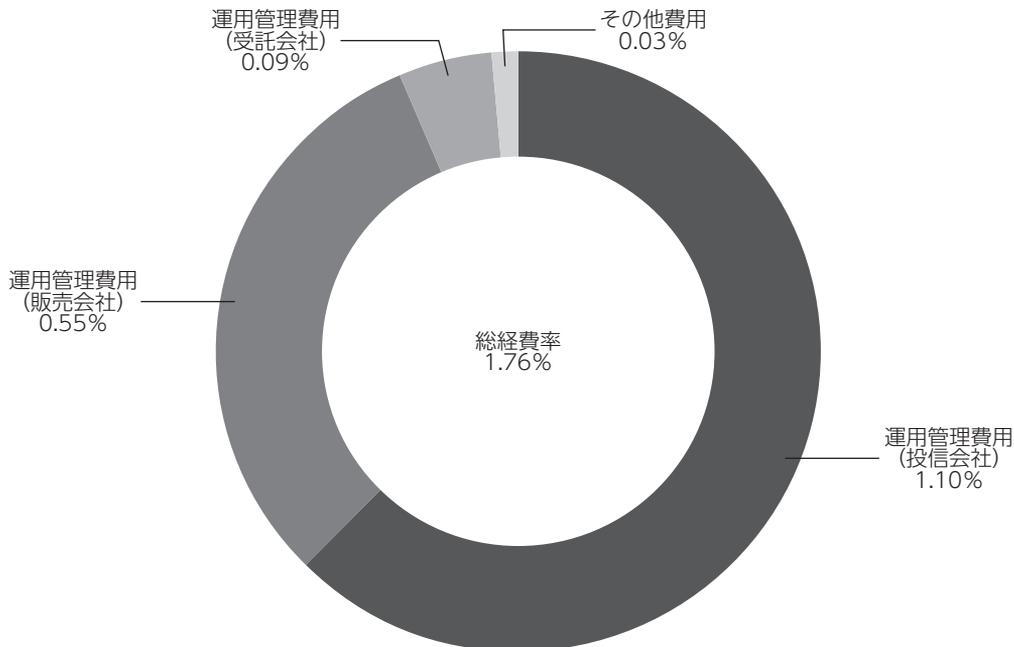
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.76%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2020年12月9日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2020年12月9日 期首	2021年12月9日 決算日	2022年12月9日 決算日	2023年12月11日 決算日	2024年12月9日 決算日	2025年12月9日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	10,636	14,352	13,210	14,089	15,550	16,381
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	34.9	△8.0	6.7	10.4	5.3
純資産総額 (百万円)	954	1,455	1,492	1,411	1,515	1,498

(注) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

投資環境

米国リート市場は下落しました。期初からトランプ政権の政策によるインフレの進展懸念などから金利が上昇し、リートは下落しました。4月には関税を巡って景気減速も懸念されたことから更に下落しましたが、関税適用の延長や米中協議の進展期待などを受けて下げ幅を縮小しました。その後はF R B（米連邦準備理事会）の利下げ姿勢への転換などもあり横ばい圏で推移しました。セクター別では、データセンターや倉庫などが相対的に大きく下落しました。

米国以外の市場について、リートは上昇する展開となりました。欧州市場は、各国中央銀行による利下げなどを受けて上昇しました。オーストラリア市場でも、R B A（オーストラリア準備銀行）による利下げなどを受けて上昇しました。アジア市場でも、対米国での関税懸念が和らいだことなどからシンガポール市場が上昇しました。

為替市場では、幅広い通貨に対して円安となりました。期前半は米国の財政悪化や景気減速懸念などから対米ドルでは円高となった一方、財政出動による成長が期待されたユーロに対しては円安となりました。期後半は日本の政局不安や首相交代などを受けて財政拡張が意識されたことや日銀の利上げ観測が後退したことなどから総じて円安となりました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

当ファンドでは、D I A M US・リート・オープン・マザーファンド40%、D I A M インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド60%を基本配分比率としていましたが、8月に足元の市場環境などを鑑み、それぞれ50%ずつに変更しました。なお、変更の際には相対的な配当利回り水準などを考慮しました。概ねこの割合となるよう、各マザーファンドの組入れを行いました。

●D I A M US・リート・オープン・マザーファンド

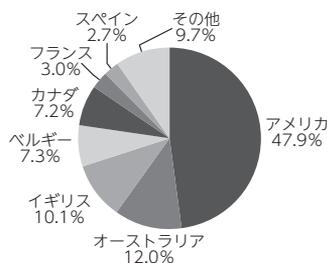
適正価格に到達したとみられる銘柄については、適宜入替えを行いました。また、米国景気の先行きや金利の動向も注視しつつ、保守的な財務体質かつ長期的に見て成長見込みがある銘柄や、割安な水準にある銘柄を選別して投資しました。工業や小売りなどの組入比率を引き上げる一方、ヘルスケアなどの組入比率を引き下げました。

●D I A M インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド

保守的な財務体質かつ配当成長の見込めるキャッシュフローの安定した銘柄を選別して投資を行いました。また、適正価格に到達した銘柄は適宜入替えを行いました。地域別では、ベルギーや英国などの組入比率を引き上げる一方、オランダやカナダなどの組入比率を引き下げました。また、用途別では、混合型やヘルスケアなどの組入比率を引き上げる一方、工業や住居施設などの組入比率を引き下げました。

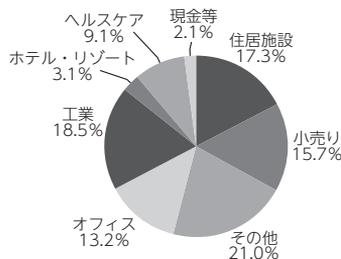
【運用状況】

○発行国別配分

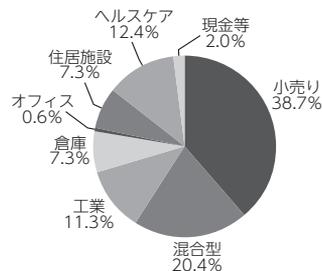


○各マザーファンドにおける用途別組入比率（純資産総額比）

DIAM US・リート・オープン・マザーファンド



DIAM インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド



(注1) 比率は純資産総額に対する実質組入比率です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。

(注3) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

(注) 用途分類は、運用に関する権限を委託しているデービス・セレクトド・アドバイザーズ社独自の分類方法によるものです。

(注) 用途分類は、運用に関する権限を委託しているファースト・センティア・インベスターズ（オーストラリア）アイエム・エルティエーディー社独自の分類方法によるものです。

分配金

収益分配金につきましては基準価額水準・市況動向等を勘案し、無分配とさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2024年12月10日 ～2025年12月9日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－%
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	9,886円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、D I A M US・リート・オープン・マザーファンドおよびD I A M インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンドを高位に組入れることを基本とした運用を行います。

●D I A M US・リート・オープン・マザーファンド

米関税による米国景気への悪影響や米国の雇用情勢が懸念される一方、F R Bによる利下げ期待は高まっており、先行きが見通しにくい状況です。当ファンドでは従来と同様に、長期的な成長が期待できる銘柄を選別して投資する方針です。また、割安な水準にある銘柄にも投資することにより、比較的高い配当利回りを維持できるポートフォリオを構築していきます。

●D I A M インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド

米国以外において、欧州では相対的な割安感が下支えとなっていますが、オフィスなどでは厳しいファンダメンタルズが予想されます。こうした中、欧州市場は、強力な価格決定力を持つ銘柄などへの投資を行っていく方針です。アジア・オセアニア市場は、景気動向や米中対立などが懸念材料となっており、優れた収益成長見通しと健全な資本管理を持つ銘柄を選別し投資を行っていく方針です。

お知らせ

約款変更のお知らせ

■当ファンドおよび当ファンドが投資対象とする「D I A M US・リート・オープン・マザーファンド」および「D I A M インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド」において、投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、「運用報告書の交付」を「運用状況にかかる情報の提供」に変更しました。

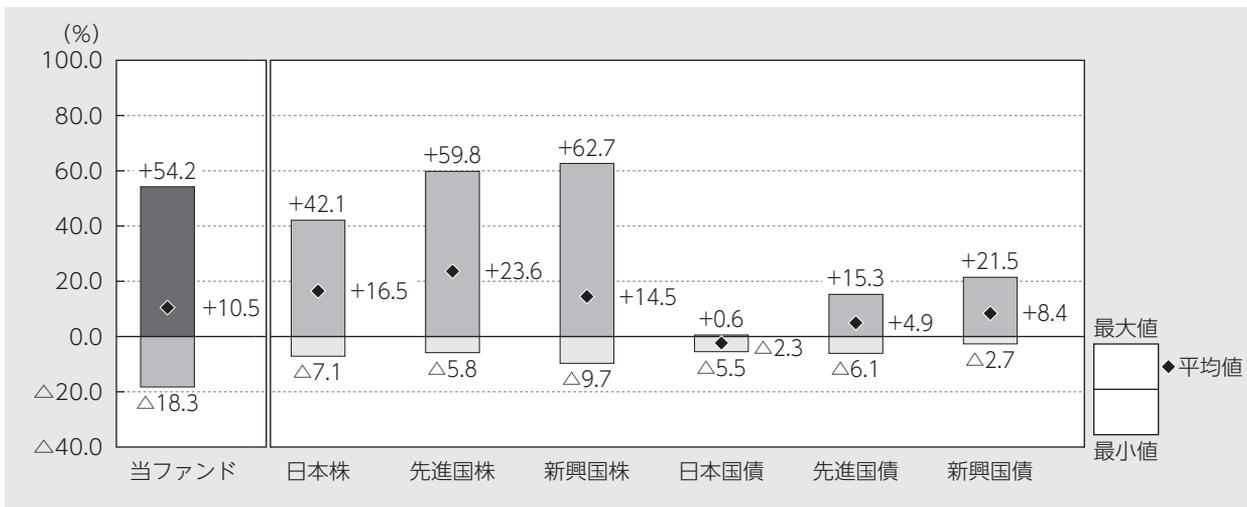
(2025年4月1日)

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信	
信託期間	2007年9月27日から無期限です。	
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。	
主要投資対象	DIAM ワールド REITアクティブファンド < DC 年金 >	DIAM US・リート・オープン・マザーファンド受益証券およびDIAM インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	DIAM US・リート・オープン・マザーファンド	米国の証券取引所に上場もしくは上場に準ずる不動産投信等の投資信託証券を主要投資対象とします。
	DIAM インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド	米国および日本を除く世界各国の証券取引所に上場もしくは上場に準ずる不動産投信等の投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	<p>マザーファンドの組入比率は、原則として高位を維持します。</p> <p>各マザーファンドへの投資割合は、世界各国のリート市場の市場規模等を参考として決定します。また、各マザーファンドの運用状況などを勘案し、投資割合を変更する場合があります。</p> <p>なお、実質組入外貨建資産については、対円で為替ヘッジは行いません。</p> <p>DIAM US・リート・オープン・マザーファンドの運用に関する権限は、デビース・セレクトド・アドバイザーズ（米国）に、DIAM インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンドの運用に関する権限はファースト・センティア・インベスターズ（オーストラリア）アイエム・エルティーディー（豪州）にそれぞれ委託します。</p>	
分配方針	<p>決算日（原則として12月9日。休業日の場合は翌営業日。）に、経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の中から基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わないことがあります。</p>	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2020年12月～2025年11月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2025年12月9日現在）

◆組入ファンド等

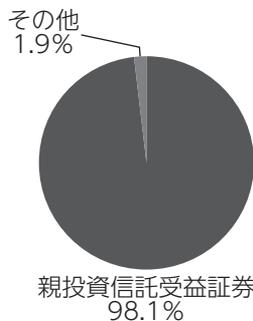
（組入ファンド数：2ファンド）

	第19期末
	2025年12月9日
DIAM インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド	49.2%
DIAM US・リート・オープン・マザーファンド	48.9
その他	1.9

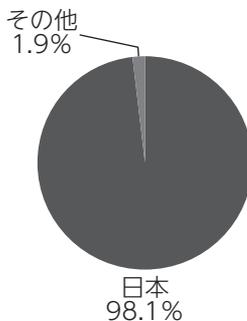
（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

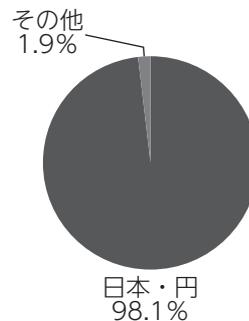
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。

純資産等

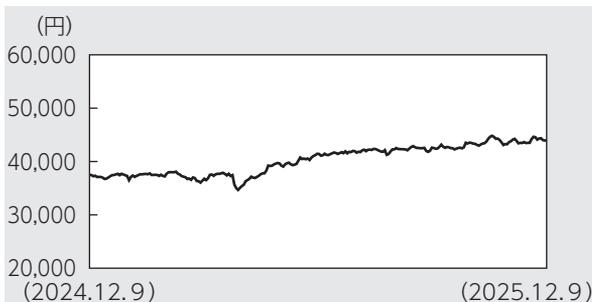
項目	当期末
	2025年12月9日
純資産総額	1,498,921,524円
受益権総口数	915,022,014口
1万口当たり基準価額	16,381円

（注）当期中における追加設定元本額は150,750,278円、同解約元本額は210,537,138円です。

組入ファンドの概要

[DIAM インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド] (計算期間 2024年12月10日~2025年12月9日)

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

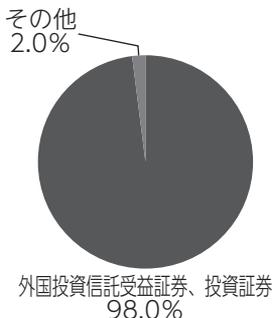
銘柄名	通貨	比率
VASTNED NV	ユーロ	7.3%
STOCKLAND	オーストラリア・ドル	5.4
LONDONMETRIC PROPERTY PLC	イギリス・ポンド	5.0
MERLIN PROPERTIES SOCIMI SA	ユーロ	4.9
NATIONAL STORAGE REIT	オーストラリア・ドル	4.9
PRIMARY HEALTH PROPERTIES PLC	イギリス・ポンド	4.8
HAMMERSON PLC	イギリス・ポンド	4.8
WAREHOUSES DE PAUW	ユーロ	4.6
PARKWAY LIFE REIT	シンガポール・ドル	4.6
CT REAL ESTATE INVESTMENT TRUST	カナダ・ドル	4.5
組入銘柄数	27銘柄	

◆1万口当たりの費用明細

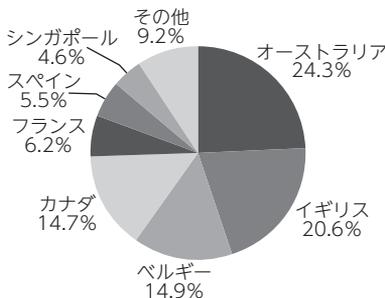
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (投資信託受益証券) (投資証券)	11円 (5) (6)	0.027% (0.013) (0.015)
(b) 有価証券取引税 (投資証券)	19 (19)	0.048 (0.048)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	11 (9) (2)	0.028 (0.022) (0.006)
合計	42	0.104

期中の平均基準価額は40,264円です。

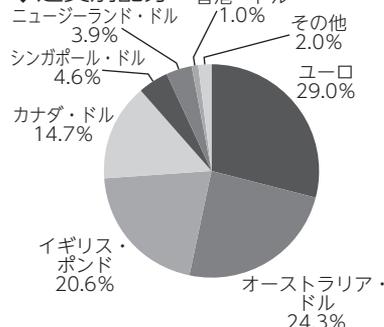
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分につきましては発行国(地域)で表示しております。

(注6) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

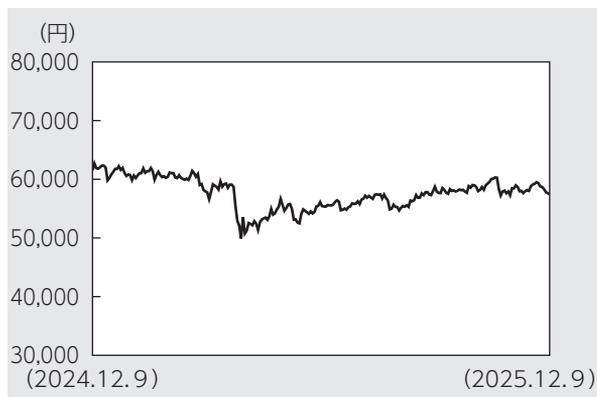
(注7) 現金等はその他として表示しています。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

[DIAM US・リート・オープン・マザーファンド]

(計算期間 2024年12月10日～2025年12月9日)

◆基準価額の推移



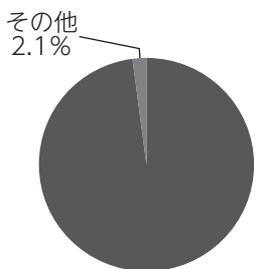
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
PROLOGIS INC	アメリカ・ドル	8.9%
EQUINIX INC	アメリカ・ドル	5.3
BXP INC	アメリカ・ドル	4.7
REXFORD INDUSTRIAL REALTY INC	アメリカ・ドル	4.5
SIMON PROPERTY GROUP INC	アメリカ・ドル	4.3
DIGITAL REALTY TRUST INC	アメリカ・ドル	4.1
BRIXMOR PROPERTY GROUP INC	アメリカ・ドル	3.9
PUBLIC STORAGE	アメリカ・ドル	3.8
COUSINS PROPERTIES INC	アメリカ・ドル	3.6
AVALONBAY COMMUNITIES INC	アメリカ・ドル	3.5
組入銘柄数	35銘柄	

◆1万口当たりの費用明細

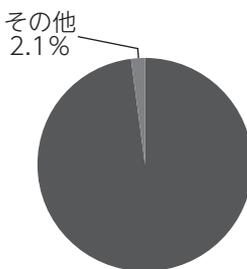
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (投資証券)	26円 (26)	0.044% (0.044)
(b) その他費用 (保管費用) (その他)	7 (7) (0)	0.012 (0.012) (0.000)
合計	33	0.057
期中の平均基準価額は57,602円です。		

◆資産別配分



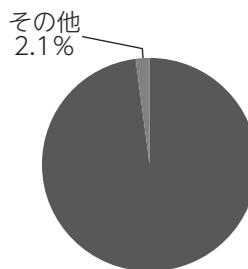
外国投資信託受益証券、投資証券
97.9%

◆国別配分



アメリカ
97.9%

◆通貨別配分



アメリカ・ドル
97.9%

(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分につきましては発行国(地域)で表示しております。

(注6) 現金等はその他として表示しています。

(注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

